

QUESTION & ANSWER

小学校では、 どんな国語学習を経験してきたのですか？

生徒たちは、小学校の6年間でどんな国語学習を経験してきたのでしょうか。
光村図書の教科書を例に、先生たちの疑問にお答えします。

Q1 小学校の国語学習と中学校の国語学習の違いを、どうとらえればいいのでしょうか。

A1 小学校学習指導要領では、低学年・中学年・高学年の三つに分けて「各学年の目標、内容及び言語活動例」が示されています。これらは、系統的・段階的に高められています。同時に螺旋的・反復的に繰り返し学習を基本としています。中学校と小学校の関係も同様で、生徒は、中学校での学習のより基本的な内容を、小学校の段階に経験しています。中学校での国語学習は、小学校で行った学習を、より広げ、深めるものと考えていいでしょう。

Q2 「話すこと・聞くこと」の学習では、どんなことを経験しているのでしょうか。

A2 言語活動例として取り上げられているのは、「低学年」昔話や童話などの読み聞かせを聞くこと、絵や写真などを見て想像を膨らませながら読むこと、自分の読みたい本を探して読むこと、「中学年」読んだ内容などに関連した他の文章を読むこと、疑問に思った事などについて関係のある図書資料を探して読むことなど、「高学年」読書発表会を行うこと、自分の課題を解決するために図鑑や事典などを活用して必要な情報を読むことなど」という内容です。ただ、小学校で学習する内容の中に、「主題」「朗読」という言葉は登場しません。これらは、中学校に入ってから初めて経験することになります。また、文語調の文章については、あくまでもこれに触れることを目的として、高学年で、短歌と俳句、文語詩を読む学習を経験します。光村図書の教科書では、六年生に狂言も登場します。

Q3 「書くこと」の学習では、どんなことを経験しているのでしょうか。

A3 言語活動例として取り上げられているのは、「低学年」絵に言葉を入れること、伝えたい

達の話を書くこと、読んだ本の中で興味をもったところなどを紹介することなど、「中学年」身近な話題についてスピーチすること、要点などをメモに取りながら聞くこと、身近な出来事や調べた事柄について説明したり報告したりすることなど、「高学年」自分の考えを資料を提示しながらスピーチすること、目的意識をもって友達の考えを聞くこと、調べた事やまとめた事を話し合うことなど」という内容です。光村図書の教科書を例に取ると、高学年では、インタビューや学級討論会、資料を見せながらの発表なども経験しています。

Q5 読書指導や図書館の利用指導、また情報収集・活用指導について、小学校ではどのような行われているのでしょうか。

A5 これらの内容は、小学校でも重視されており、国語の時間の中で繰り返し学習しています。光村図書の教科書では、全学年に読書単元を位置づけ、さまざまなジャンルの本に親しむと同時に、本を探すための図書館利用の方法を紹介しています（本の並べ方、目次、索引の利用など）。また、情報収集・活用の場として、三年生以上に、情報活用単元を位置づけています。ある文章をきっかけに、自分の興味・関心に応じて課題を見つけ、文章にまとめたり発表したりすることをねらいとした単元です。情報活用の方法として、中学年では、図鑑など本で調べることやインタビュー、高学年では、インターネットの活用なども扱っています。

事を簡単な手紙などに書くこと、先生や身近な人などに尋ねた事をまとめること、観察した事を文などに表すことなど、「中学年」手紙を書くこと、自分の疑問に思った事などについて調べてまとめること、経験した事を記録文や学級新聞に表すことなど、「高学年」礼状や依頼状などの手紙を書くこと、自分の課題について調べてまとめた文章に表すこと、経験した事をまとめた記録や報告にすることなど」という内容です。光村図書の教科書には、新聞、グラフ・表を用いた報告文、レポートのほかに、ガイドブックづくりや放送原稿を書く活動なども位置づけています。また、物語や詩を創作する活動も、各学年で体験しています。

Q4 「読むこと」の学習では、どんなことを経験しているのでしょうか。

●小学校国語教科書「読むこと」主な教材一覧（光村図書を例に）

	童話・民話・物語・詩		説明文	
	教材名	作 者	教材名	作 者
1年	はなのみち	岡信子	いろいろなくちばし	村田浩一
	あいうえおで あそぼう（詩）	中川ひろたか	じどう車くらべ	
	おむすびころりん	羽曾部忠	どうぶつの 赤ちゃん	増井光子
	大きなかぶ	西郷竹彦		
	くじらぐも	中川李枝子		
	ずうっと、ずっと、大すきだよ	ハンス＝ウイルヘルム 久山太市訳		
	あめふり くまのこ（詩）	鶴見正夫		
2年	たぬきの糸車	岸なみ		
	ふきのとう	工藤直子	たんぼぼのちえ	植村利夫
	スイミー	レオ＝レオニ 谷川俊太郎訳	サンゴの海の生きものたち	本川達雄
	おおきくなあれ（詩）	阪田寛夫	一本の木	岩崎清
	黄色いバケツ	森山京		
	お手紙	アーノルド＝ローベル 三木卓訳		
	いるか（詩）	谷川俊太郎		
3年	スーホの白い馬	大塚勇三		
	きつつきの商売	林原玉枝	ありの行列	大滝哲也
	わたしと小鳥とすずと（詩）	金子みすゞ	すがたをかえる大豆	国分牧衛
	三年とうげ	李錦玉		
	キリン（詩）	まど・みちお		
	聞き耳ずきん	上笙一郎		
	ちいちゃんのかげおくり	あまんぎみこ		
4年	モチモチの木	斎藤隆介		
	三つのお願い	ルシール＝クリフトン 金原瑞人訳	「かむ」ことの力	金田洵
	春のうた（詩）	草野心平	手と心で読む	大島健甫
	白いぼうし	あまんぎみこ	アップとルーズで伝える	中谷日出
	ぼく（詩）	木村信子		
	いろはにほへと	今江祥智		
	一つの花	今西祐行		
5年	ごんぎつね	新美南吉		
	新しい友達	石井睦美	サクラソウとトラマルハナバチ	鷺谷いつみ
	晴間（詩）	三木露風	千年の釘にいどむ	内藤誠吾
	海雀（詩）	北原白秋	ごみ問題ってなあに	嘉田由紀子
	雪（詩）	三好達治	ニュース番組作りの現場から	清水建宇
	未確認飛行物体（詩）	入沢康夫		
	わらぐつの中の神様	杉みき子		
6年	ねぎぼうず（詩）	みずかみかずよ		
	ケムシ・――（詩）	まど・みちお		
	耳（詩）	ジャン＝コクトー 堀口大学訳		
	蝶（詩）	ジュール＝ルナール 岸田国士訳		
	月夜のみみずく	ジェイン＝ヨーレン 工藤直子訳		
	大造じいさんとガン	棕鳩十		
	カレーライス	重松清	生き物はつながりの中に	中村桂子
	森へ	星野道夫	多くの人が使えるように	古瀬敏
	船（詩）	山之口獺	平和のとりでを築く	大牟田稔
	りんご（詩）	山村暮鳥		
	柿山伏（狂言）	山本東次郎		
	やまなし	宮沢賢治		
	海の命	立松和平		
	今、君たちに伝えたいこと	小澤征爾		
	生きる（詩）	谷川俊太郎		

Q6 国語辞典や漢字辞典の使い方は、どのように指導されているのでしょうか。

A6 国語辞典の使い方は三年生で、漢字辞典の使い方は四年生で学習します。光村図書の教科書では、いずれも辞典のページを具体的に図示したうえで、国語辞典では語の配列のしかたや活用について、漢字辞典では音訓引き・部首引き・総画引きなどについてそれぞれ解説し、練習するようになっていきます。五・六年生では、その応用として、漢字の成り立ちを調べたり、部首を確かめたりするなど、実際に辞典を使う活動を複数位置づけています。

Q7 小学校では、漢字指導はどのように行われているのでしょうか。

A7 小学校では、中学校とは違って、学習指導要領のうえで、学年別配当漢字が定められてい

ます。つまり、学年によって指導すべき漢字の字種と字数が決まっているのです。また、学習指導要領では、漢字は二年間かけて指導することになっています。例えば、六年生では六年生配当漢字を「読む」、また、「漸次書くようにする」とともに、五年生までの漢字を「書き、文章の中で使う」という指導がされます。ですから、六年生の配当漢字一八一字を「書き、文章の中で使う」指導は、中学校に任されることになります。

Q8 小学校で学習する国語科用語の大体を教えてください。

A8 算数・数学のように、学習指導要領で用語が決められているわけではないので、あくまでも光村図書の教科書を例にしていうことになりましたが、以下のような語は、教科書中でこれを解説し、学習上使用できるようにしています。

- 主語・述語・修飾語・接続語、こそあど言葉
- 場面、登場人物、心情、情景、会話、地の文、段落、要旨、構成
- 敬語（丁寧語、謙譲語、尊敬語、方言、共通語）
- へん・つくり、送り仮名、和語・漢語・外来語、複合語
- 短歌、俳句、文語